



柏飛行場と航空教育隊

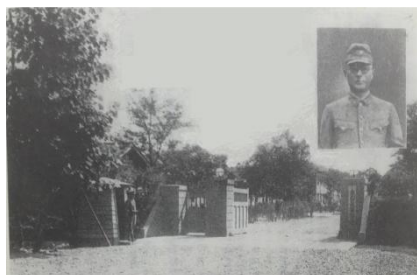
日中戦争当時に開設され、「首都防衛」の陸軍飛行場とされた柏飛行場。その南側に柏飛行場より敷地は小規模ですが、太平洋戦争末期には4千人を超える将兵を擁した陸軍第四航空教育隊という部隊があったのをご存知ですか。東部第102部隊といった方が、馴染みがあるかもしれません。柏飛行場の変遷と戦争遺跡、第四航空教育隊での訓練内容、そこにいた兵士の生活など、歴史の一断面について考えてみたいと思います。



陸軍第四航空教育隊営門跡



第四航空教育隊 入口付近



戦時中の第四航空教育隊営門



九七式戦闘機

日時： 平成30年 10月28日(日)13時半～15時半まで (13時開場)

場所： 柏中央公民館 4F 集会室1・2

柏市柏5丁目8番12号(教育福祉会館内)

⇒ アクセス: 柏駅東口より徒歩10分

講師： 森 伸之(軍事史学会)

費用： 500円(資料代など～「柏の航空教育隊」冊子進呈)

その他： 駐車場は隣接してありますが、有料です。

なるべく事前にメール等でお申し込み下さい。

主催： 手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

【お問合せ先】

E-Mail : info@matsugasakijo.net TEL : 090-3579-5185 森 (平日は18時以降で)

会誌「水辺の城」第2号

頒布中



神田神保町 六一書房でも販売